

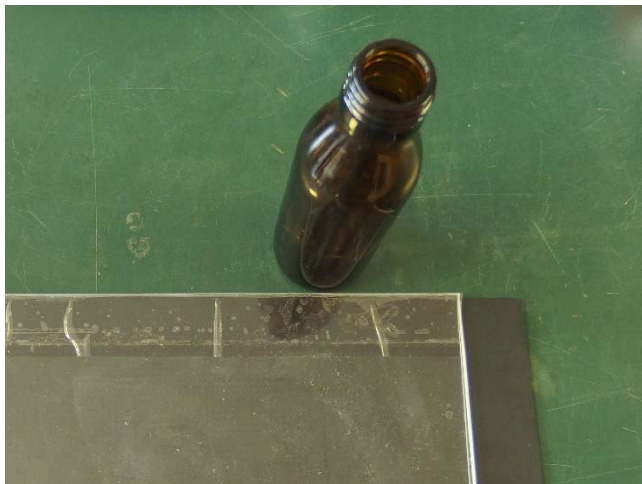
おしころがし染め

森さんによって発明された「たたき染め」は簡単な操作で葉のでんぷんを検出できる。つまり、冷水不溶性のでんぷんをろ紙に写しとり、クロロフィルを漂白後、ヨウ素液で発色する。

この方法に少し変更を加えた「おしころがし」染めを試みた。「たたき→おしころがし」の変更です。

機材は、槌（つち）の代わりにドリンク剤などのガラス瓶*（びん）を使います。

*小型の瓶が手近にない場合、普段、ほとんど使うことがない乳棒を使うこともできます。



おしころがしの操作は、葉をろ紙にはさみ、平らな所においてゴム板をのせます。板の上から葉の部分を瓶で前後に*おしころがします。

*一方向の操作ではろ紙がずれて葉が寄り集まったり上手くできません。

写しとり以外は森さんの方法で染色します。

おしころがし



染色

